

新庁舎用地の方針決定

建設予定地は河岐パチンコ店敷地一帯



平成27年から本格的に検討を進めてきた新庁舎の整備は、学校統合の方針を優先してきたことから、当初の計画より遅れています。このたび建設予定地の方針が決まりました。

ここでは、改めてなぜ今庁舎整備なのかを振り返り、検討の経緯から今後のスケジュール等を紹介します。

現庁舎の課題

現在の庁舎は、昭和32年に1階、2階部分が建設され、その後3階議会棟、北棟、南棟、宿直棟、分館などが増築されています。一番古い本庁舎はすでに築63年が経過しています。施設の老朽化も著しく、壁、床のひび割れ、雨漏りなども発生しており、修繕を繰り返しながら使用している状態です。

また、災害の際に防災の拠点となる庁舎は、高い安全性が求められることから、一般的に耐震性能（IS値 高いほど安全性が高い）については0.9が求められていますが、白川町の庁舎は0.07〜0.79であり、大地震の際には人命にかかわる被害の発生が危惧されています。また、現在の庁舎の位置では、大地震や豪雨災害の際、防災拠点施設としての機能を果たすことができなくなる可能性も指摘されています。防災行政無線の設備がこうした施設内にあることについて、国からも強く改善を求められています。

ほかにも、エレベーターがない、バリアフリーの対応が不十分など、利便性が低く、新庁舎の整備が大きな課題となっています。

求められる新庁舎の機能

このような課題を踏まえて、次のような機能を備えた新たな庁舎の整備が求められています。

まず、求められる機能の第一は、防災拠点となり得る、安全・安心な庁舎です。より安全な場所、災害に強く、危機管理、災害対策の拠点としての機能が発揮できる庁舎が必要になります。

二つ目に求められる機能としては、利用者にとって使いやすい庁舎です。誰にとっても分かりやすく、使いやすい窓口機能



現在の役場防災行政無線室



現在の役場住民窓口

やユニバーサルデザインが必要になります。機能的で効率的な執務環境の実現を図り、職員にとっても働きやすい環境を作ることが大切です。

三つ目に求められる機能としては、町民に親しまれる、自然と調和した白川らしい庁舎にすることです。2050年の脱炭素社会の実現に向け、自然エネルギーなどの資源を有効に活用しつつ、維持管理にも配慮しながら長寿命化をめざした施設づくりをする必要があります。

検討委員会等での協議

庁舎整備についてのこれまでの検討状況を次のページにまとめています。

一般的には、庁舎の建設用地の選定と、理想的な庁舎整備の検討は並行して進められることが多いのですが、白川町の場合、建設用地が限られることから、まず用地の選定の検討を庁舎整備検討委員会に委ねました。半年間にわたり8回の検討会議等を経て、3つの候補地の答申を受けたところです。答申を受けて、議会からは河岐地区内の整備と、学校再編の協議を優先して検討するよう意見書が提出さ



れました。

その後、学校再編に関する答申が示されたことから、検討を再開し、町としては白川中学校の一部を活用した分庁舎方式を議会で提案しましたが、コロナ禍にあつて経営に変化がみられるパチンコ店と、町民会館に近い商工会付近についても合わせて検討するよう意見が出されました。

町としては河岐地区内の3つの場所でも再度検討を行い、地権者との協議も進める中で、最終的に、安全性、広さ、将来性等において優位と認められるパチンコ店の敷地帯を候補地とする最終の方針を決定しました。議会の庁舎建設特別委員会でも、町の方針を認めていただいたことから、河岐地区等での説明会を3月の終わりから始めたところです。





✎ 庁舎整備のスケジュール

今後の庁舎整備の予定については、下表のとおりです。

今年度改めて立ち上げる庁舎整備検討委員会を中心に、まずは庁舎位置について説明し理解を求めた上で、施設の規模はどうするか、木造庁舎にするのか、庁舎にどういった機能を持たせるかなど、全般にわたって協議を進めていく予定です。この協議と並行し、令和3年度は庁舎建設の基本計画の策定、オフィス環境の現況調査を行い、基本計画策定後に庁舎の基本設計とオフィスの基本設計について発注する予定です。用地買収については令和3年度末頃を予定しています。

令和4年度には庁舎建設の実施設計及びオフィス実施レイアウト設計の発注を行い、令和5年度末から庁舎建設に着工、令和7年春に完成させることを目標にしています。

これらはまだ案の段階ですが、今後協議を進めていく途中において、検討中の事柄、決まった事柄等について、順次広報していく予定です。

新庁舎建設事業スケジュール（案）

		1カ年	2カ年	3カ年	4カ年	5カ年
年度	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
計画	新庁舎建設	基本計画				
	オフィス環境整備	環境調査 基本計画				
設計	新庁舎建設		基本設計	実施設計		
	オフィス環境整備		基本レイアウト 設計	実施レイアウト 設計		
施工	新庁舎建設		材木調達・乾燥・製材		新庁舎建設	
	オフィス環境整備				備品	移転
その他	新庁舎建設		事業認定 用地買収			



◀ 予定地の位置図

庁舎整備に関する検討状況等

年度	年	月	町	議 会
平成26	平成26年	12月		町議会定例会 一般質問 「役場本庁舎の建て替え・移転の検討について」
		3月	都市局関係会計検査（無線デジタル化）	
27	平成27年	11月	まち・ひと・しごと総合戦略委員会（町内者） ・庁舎移転の必要性と意見収集	議会からも2名参加
		12月		町議会定例会 一般質問 「今後の役場庁舎について」
28	平成28年	7月	係長会議にて庁舎整備研究スタート ・研究報告書の作成	
29	平成29年	4月		議員協議会にて庁舎整備研究報告
		10月	庁舎整備検討委員会の組織 学識経験者2名 代表5名 公募5名 職員3名	
	平成30年	3月		町議会定例会 一般質問 「町長提案説明による町政方針について」
30	平成30年	4月	庁舎整備検討委員会からの答申 ・庁舎の在り方 ・候補地の絞り込み (中学校・島地内・タイセイ跡地)	庁舎建設特別委員会（1回） ・白川中学校の現状を見て、 ・庁舎整備検討委員会の答申説明 ・学校再編との絡み
		5月	庁内検討チームの結成 ・答申内容の検討 ・庁舎建設スタイルと候補地の選定	
		7月		庁舎建設特別委員会（2回） ・白川中学校の現状を見て、 ・庁舎よりもまずは中学校をという意見多数
		8月		特別委員会意見書 ・庁舎は河岐地内が適当 ・庁舎建設よりも学校再編を優先
		12月		町議会定例会 一般質問 「新庁舎建設問題の進捗について」
令和元	令和元年	6月		町議会定例会 一般質問 「学校の統合及び庁舎問題について」
		8月	課長会議にチーム検討報告 ・選定の根拠 ・現白川中学校の敷地一部を利用した【分庁式】を提案	
		9月	白川町小・中学校再編検討委員会 ・白川町の小・中学校の望ましい教育環境のあり方について（答申） ・義務教育学校「美濃白川学園」創設を提案	
		12月		町議会定例会 一般質問 「役場新庁舎建設についての方向性は」
	令和2年	1月	「学校再編に関する白川町教育委員会の方針」策定 ・義務教育学校「美濃白川学園」創設を目指す	
令和2	令和2年	5月	議会庁舎検討委員会に説明 ・選定の根拠 ・現白川中学校の敷地一部を利用した【分庁式】を提案	庁舎建設特別委員会（3回） ・分庁式について了承 ・場所については、パチンコ店、農協、商工会についても調査してはどうか 庁舎建設特別委員会（4回） ・候補地について検討
		6月		庁舎建設特別委員会（5回） ・白川中、パチンコ店、商工会の3地点について交渉を進め、概算事業費の提示を依頼
	令和3年	令和3年	1月	議会庁舎検討委員会に説明 ・用地交渉の状況について説明 ・パチンコ店の土地について買収の見通しがついたため候補地とすることについて提案
2月				庁舎建設特別委員会（7回） ・パチンコ店の土地を候補地とすることについて全員賛成 ・現地視察 ・白川口自治協議会への説明会開催の依頼
3月			地元説明会開催	